

報道資料

平成22年11月26日

道路建設課 事業計画係
担当 竹田博康
0742-27-7495（直通）
奈良国道事務所 計画課
担当 川尻竜也
0742-33-1391（内261）

「奈良県みんなでつくる渋滞解消プラン」 の取り組み状況について

～今ある道路を有効活用！「速効対策」「ソフト対策」実施中～

- 奈良県、奈良県警察、奈良国道事務所では、「奈良県みんなでつくる渋滞解消プラン」に基づき、渋滞対策に積極的に取り組んでいます。
- このたび、平成22年11月現在での渋滞対策の進捗状況について、「速効対策」「ソフト対策」を中心に取りまとめましたので、お知らせいたします。
- 「速効対策」6箇所、「ソフト対策」の2エリアでは、効果検証を実施しました。
- そのうち、
 - ・国道24号（寺田町交差点～出交差点）
 - ・国道168号（上中北交差点～下田交差点）では、最大渋滞長が大幅に短縮し、渋滞が緩和したことが確認されました。

『奈良県みんなでつくる渋滞解消プラン』に基づく 渋滞対策の実施状況について

○ 対策の進捗状況（平成22年11月現在）

- 1) **速効対策** 計 18箇所
 - ・ 計画策定 7箇所
 - ・ 実施 5箇所
 - ・ **効果検証** 6箇所
- 2) **ソフト対策** 計 2エリア
 - ・ **効果検証** 2エリア
- 3) ハード対策 計 1箇所
 - ・ 実施 1箇所

※幹線道路ネットワークの整備による抜本的な対策も合わせて実施

○ 「速効対策」の代表事例

箇所名	対策の内容	対策の効果
国道24号 <small>てらだちよう</small> (寺田町交差点 <small>いで</small> ～出交差点)	・ 道路敷地内での左折 レーン新設、右折レー ン移設(新堂交差点)	・ 最大渋滞長(東行き) 300m→40m(△260m)
国道168号 <small>かみなかきた</small> (上中北交差点 <small>しもだ</small> ～下田交差点)	・ 道路敷地内での左折 レーン延伸 (香芝IC上中交差点)	・ 最大渋滞長(北行き) 950m→170m(△780m)

○ 「ソフト対策」の事例

エリア名	対策の内容	対策の効果
平城遷都1300 年祭フェア期間	・ ラジオ、横断幕、ホ ームページ等による 事前の広報	・ 周辺での渋滞状況に大 きな変化は認められず (公共交通利用者が6割超)
全国都市緑化 ならフェア	(公共交通利用促進)	・ 周辺での渋滞状況に大 きな変化は認められず

・ 詳細はP. 2以下を参照

○ 渋滞対策の進捗状況の詳細については、下記をごらんください。

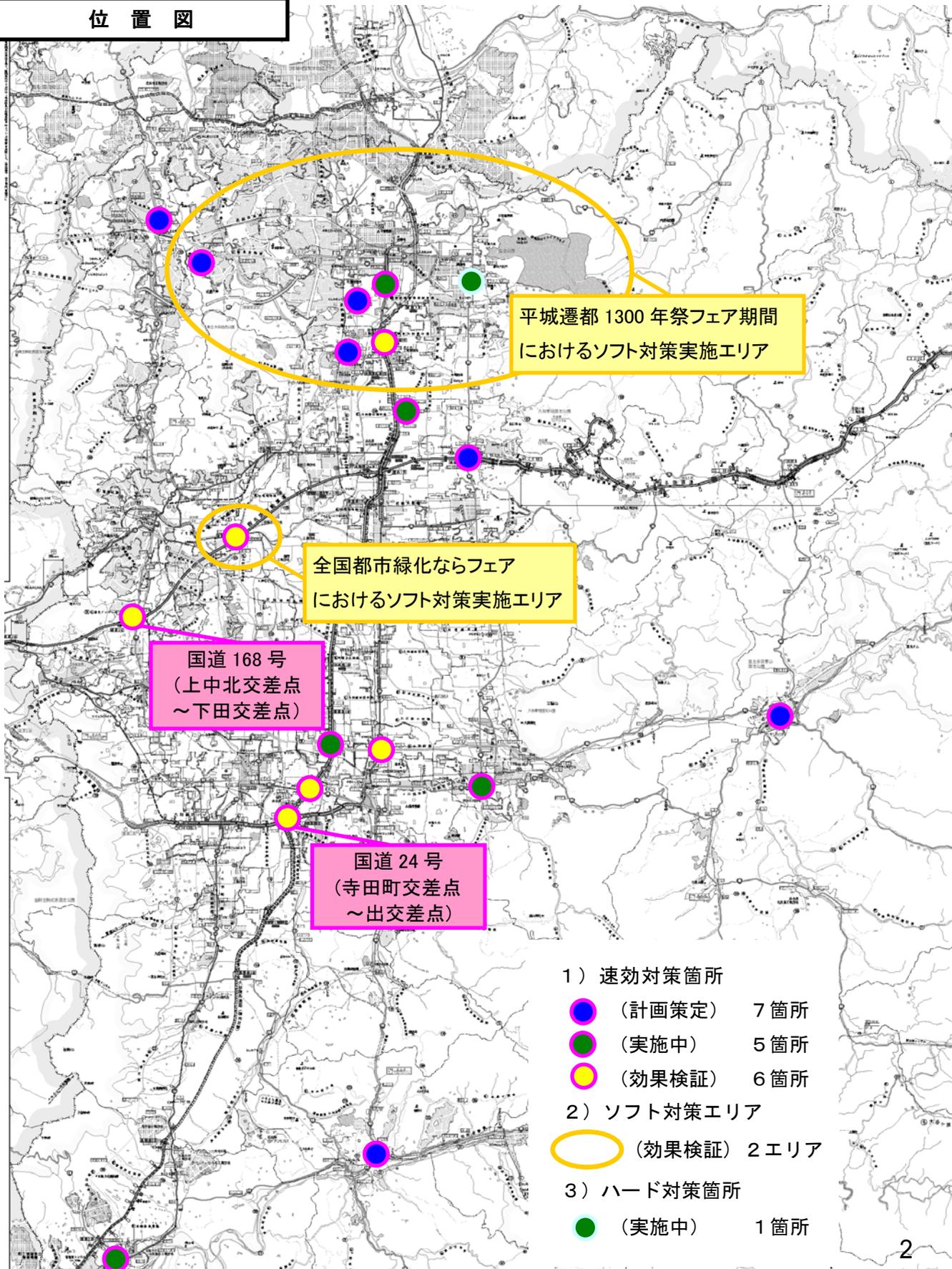
奈良県土木部道路建設課ホームページ

http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_menuid-11806.htm

奈良国道事務所のホームページ

<http://www.kkr.mlit.go.jp/nara/>

位置図



平城遷都 1300 年祭フェア期間
におけるソフト対策実施エリア

全国都市緑化ならフェア
におけるソフト対策実施エリア

国道 168 号
(上中北交差点
～下田交差点)

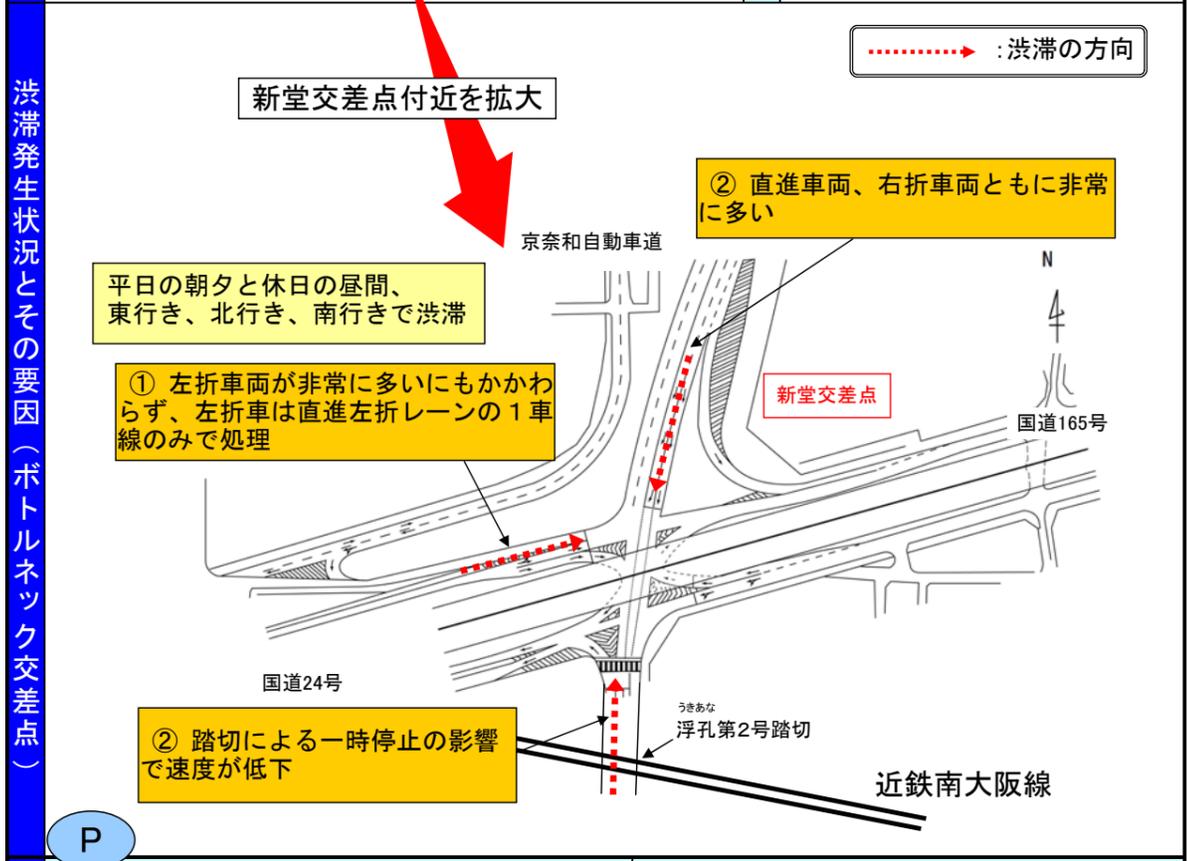
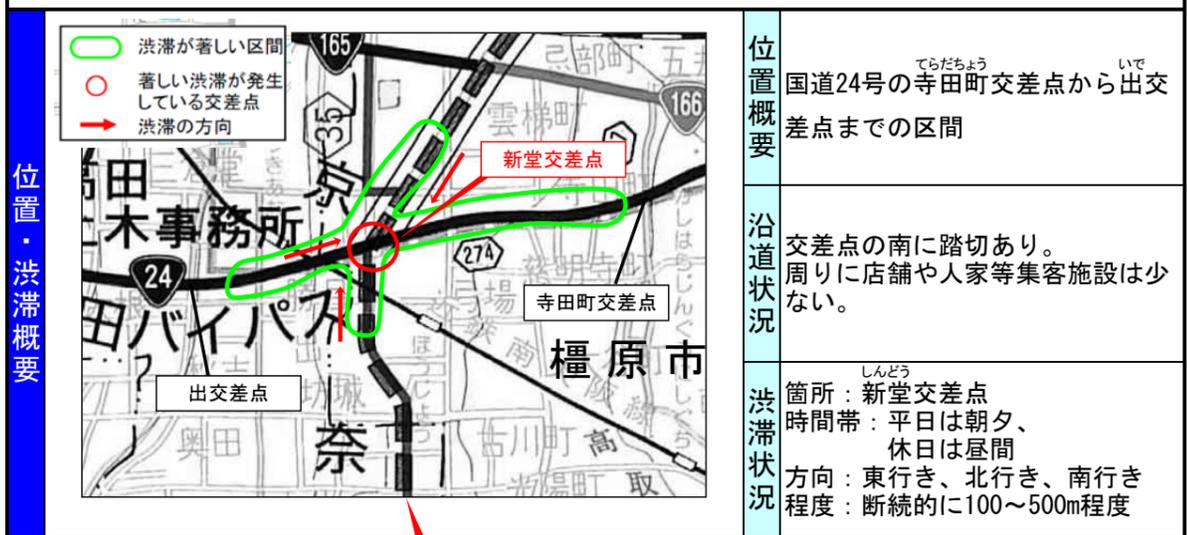
国道 24 号
(寺田町交差点
～出交差点)

- 1) 速効対策箇所
 - (計画策定) 7箇所
 - (実施中) 5箇所
 - (効果検証) 6箇所

- 2) ソフト対策エリア
 - (効果検証) 2エリア

- 3) ハード対策箇所
 - (実施中) 1箇所

NO. 5 路線・区間 国道24号 (寺田町交差点～出交差) 寺田町交差点から出交差

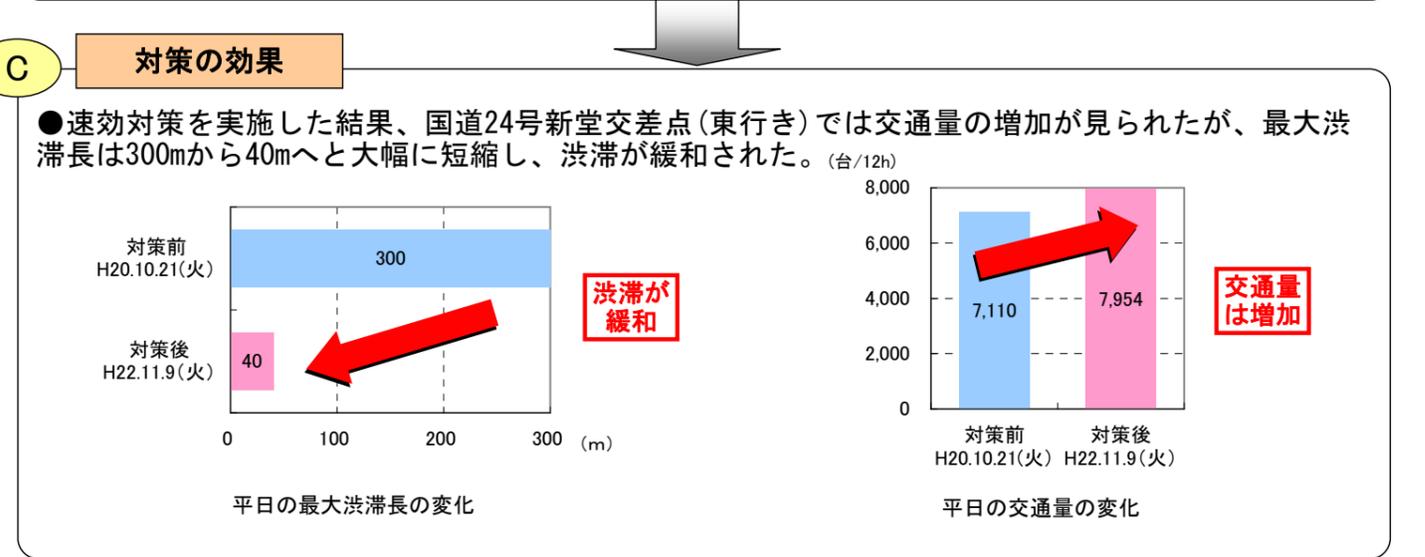
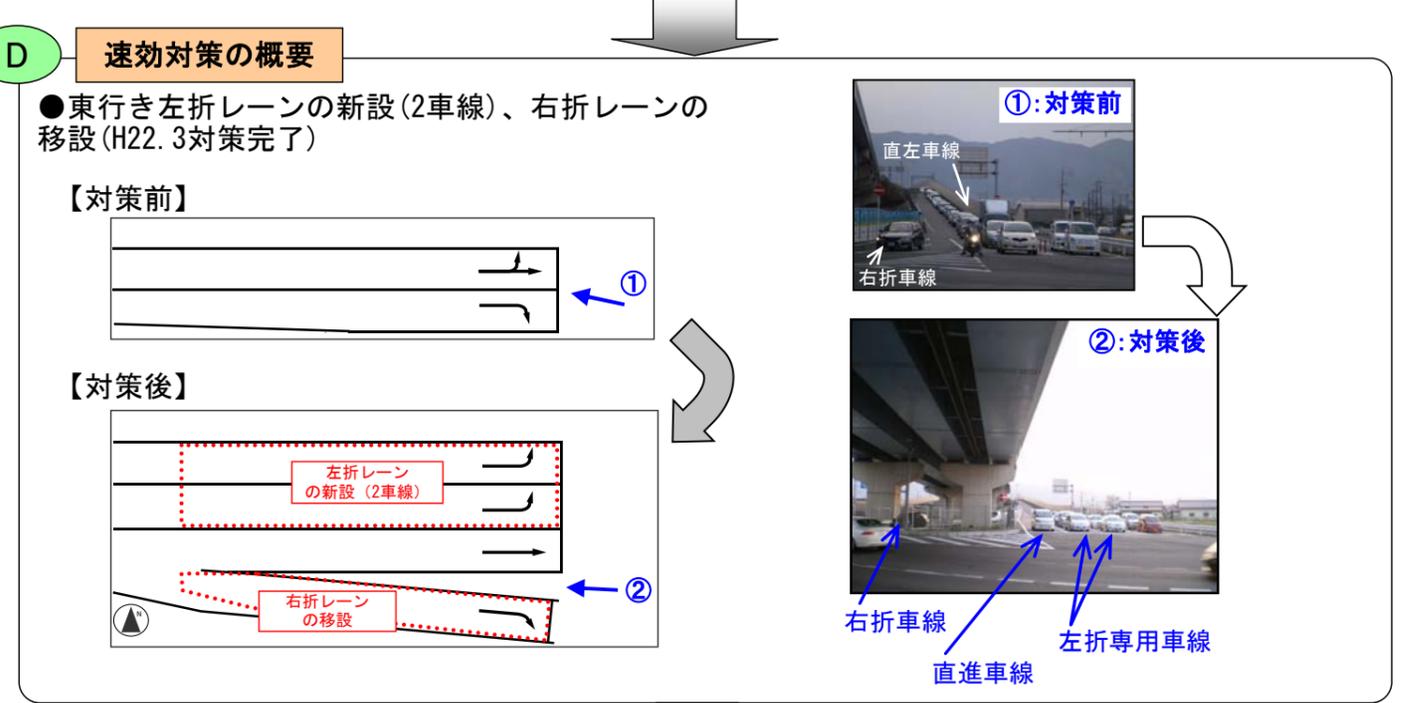


速効ソフト	対 策	対策の考え方
①	東行き左折レーンの新設、右折レーンの移設	① 需要に合わせた車線数の確保による交通の円滑化
②	京奈和自動車道(大和御所道路)の整備	② 幹線道路ネットワークの形成

※渋滞対策(案)の各対策に付している番号は、渋滞の要因で付している番号に対応した対策を記載している

NO. 5 路線・区間 国道24号 (寺田町交差点～出交差) 寺田町交差点から出交差

渋滞要因
 ●東行きについて、左折車両が非常に多いにもかかわらず、左折車は直進左折レーンの1車線のみで処理されている。



A 今後の改善点
 ●北行き、南行きに残った渋滞の対策としては、京奈和自動車道(大和御所道路)の供用による効果を調査の上、対策を検討する。

NO. 12 路線・区間 国道168号(上中北交差点～下田交差点)

位置概要
国道168号、上中北交差点から国道165号と交わる下田交差点までの区間

沿道状況
西名阪自動車道香芝IC周辺に位置しており、小売店舗や飲食店、ガソリンスタンド等の集客施設が多く集まる

渋滞状況
箇所: 香芝IC上中交差点・168号北行き
時間帯: 休日の夕方
程度: 通過時間 8分程度
延長 1000m程度

○ 渋滞が著しい区間
● 著しい渋滞が発生している交差点
→ 渋滞の方向

香芝IC上中交差点付近を拡大

①左折車両の台数に対して左折レーンが短いため、左折車両が直進レーンにはみ出し、後続直進車両の通行に支障

P 対 策		対 策 の 考 え 方	
速効ソフト	①道路敷地を利用して、国道168号の北行きの左折レーンを延長	①直進車両の通行の円滑化	
本格的	①国道168号の整備(4車線化)	①幹線道路ネットワークの形成	

※渋滞対策(案)の各対策に付している番号は、渋滞の要因で付している番号に対応した対策を記載している

NO. 12 路線・区間 国道168号(上中北交差点～下田交差点)

渋滞要因

- 香芝ICへの流入交通が多く、左折車両が直進レーンにはみ出し、直進車両を阻害

D 速効対策の概要

- 香芝・王寺道路の4車線化工事での既買収地を活用し、香芝IC方面への左折レーンを延伸(H22.3対策完了)

①: 対策前
②: 対策後

左折レーンを延伸(直進交通と分離)

C 対策の効果

- 速効対策を実施した結果、国道168号北行きの渋滞は緩和された。特に9月はイベント(緑化フェア)に伴う交通量の増加が見られたが、大きな渋滞は発生せず。

① 休日の最大渋滞長の変化

時期	最大渋滞長 (m)
対策前 H21.8.23(日)	950
対策後 H22.5.16(日)	240
対策後 H22.9.19(日)	170

② 休日の交通量の変化

時期	交通量 (台/12h)
対策前 H21.8.23(日)	5,600
対策後 H22.5.16(日)	5,700
対策後 H22.9.19(日)	7,200

A 今後の改善点

- 4車線拡幅事業区間につき、用地買収を進め、順次、左折レーンの延伸を図っていく。

平城遷都1300年祭秋季フェア期間中における平城宮跡会場周辺の交通状況等について

※ 秋季フェア期間:10月9日～11月7日

1. 来場者の交通手段分担

- 来場者への事前広報は、**公共交通** → **団体バス利用** → **自家用車利用** の順
- 広報の効果により、公共交通利用の割合は、当初想定（46%）を大きく上回る分担率を確保

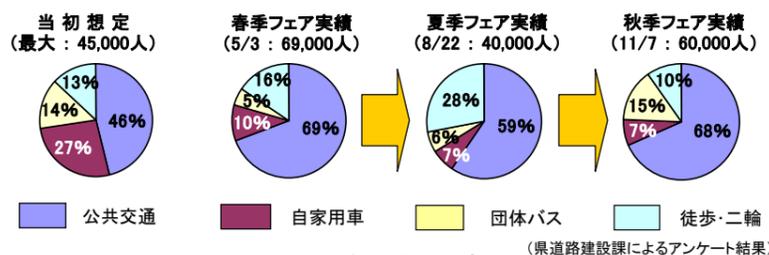


図2-1: 交通手段分担

2. 宮跡会場周辺の交通状況

- 期間中の周辺交通量はほぼ同じで、大きな渋滞も認められなかった
- 第二阪奈有料道路の利用は、昨年の同時期（10/9～11/7）と比較して約2%の増加にとどまる



図2-2: 大阪方面から会場周辺への流入台数

3. 公共交通での利用促進策の取り組みと今後の課題

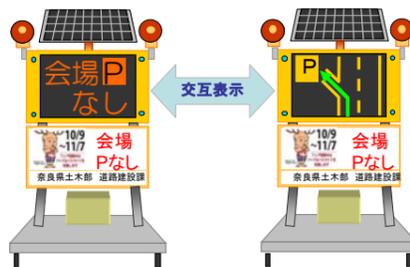
<公共交通の利用促進に向けた主な取り組み>

- 警察本部の協力のもと、日本道路交通情報センターによるラジオでの呼びかけ
1日平均 4回/日（フェア期間外）、8回/日（フェア期間中）
- 横断幕（公共交通利用促進）の設置 21枚
- ホームページによる案内（フェア期間中の1日平均アクセス数：約4千6百回/日）
（今後の課題）
- 公共交通機関等との連携による広報の継続実施



4. P & B R 施策の取り組みと今後の課題

- 郊外駐車場の平均利用台数は、春季フェア時には及ばないものの、夏季フェア時と比べるとほぼ倍増
※ 秋季フェア期間中の郊外駐車場の利用状況：約2万1千台（約5万7千人）が利用（10/9～11/7）
- 流入抑制看板の強化
郊外駐車場へ誘導するLED看板等設置 9枚
- 今年と昨年の市内の渋滞状況をホームページに表示
（今後の課題）
- 持続可能なパークアンドバスライドの実施
- 国、警察本部及び奈良市との連携による奈良中心部（特に奈良公園）への流入抑制



5. 関連事業の状況

（とくとくパーキング・奈良）

- 会員数は5,706名（大阪53%、兵庫29%）、秋季フェア期間中399名が利用
- 約7割の方が、「このサービスにより、中町駐車場を利用」と回答（H22年5月アンケート）
- 魅力的な情報提供を継続するとともに、会員の方を奈良観光に誘う取り組みを進める

（レンタサイクル（古都りん））

- 有料化（1,000円/台）にもかかわらず、多くの利用があった（晴天の土日祝貸出率：90%）
- 平均移動距離は17kmで、地域情報の充実により、大和郡山市内での立ち寄り観光が増加
- 今回の成果を、今後の広域周遊観光やパーク&サイクルライド等の施策に反映

（奈良おもてなしナビ）

- 広報の強化などにより、アクセス数が春季フェアより25%向上（1日平均アクセス数：約1,000回）
- 約9割の方から「また利用したい」との声をいただいております、継続運用について検討

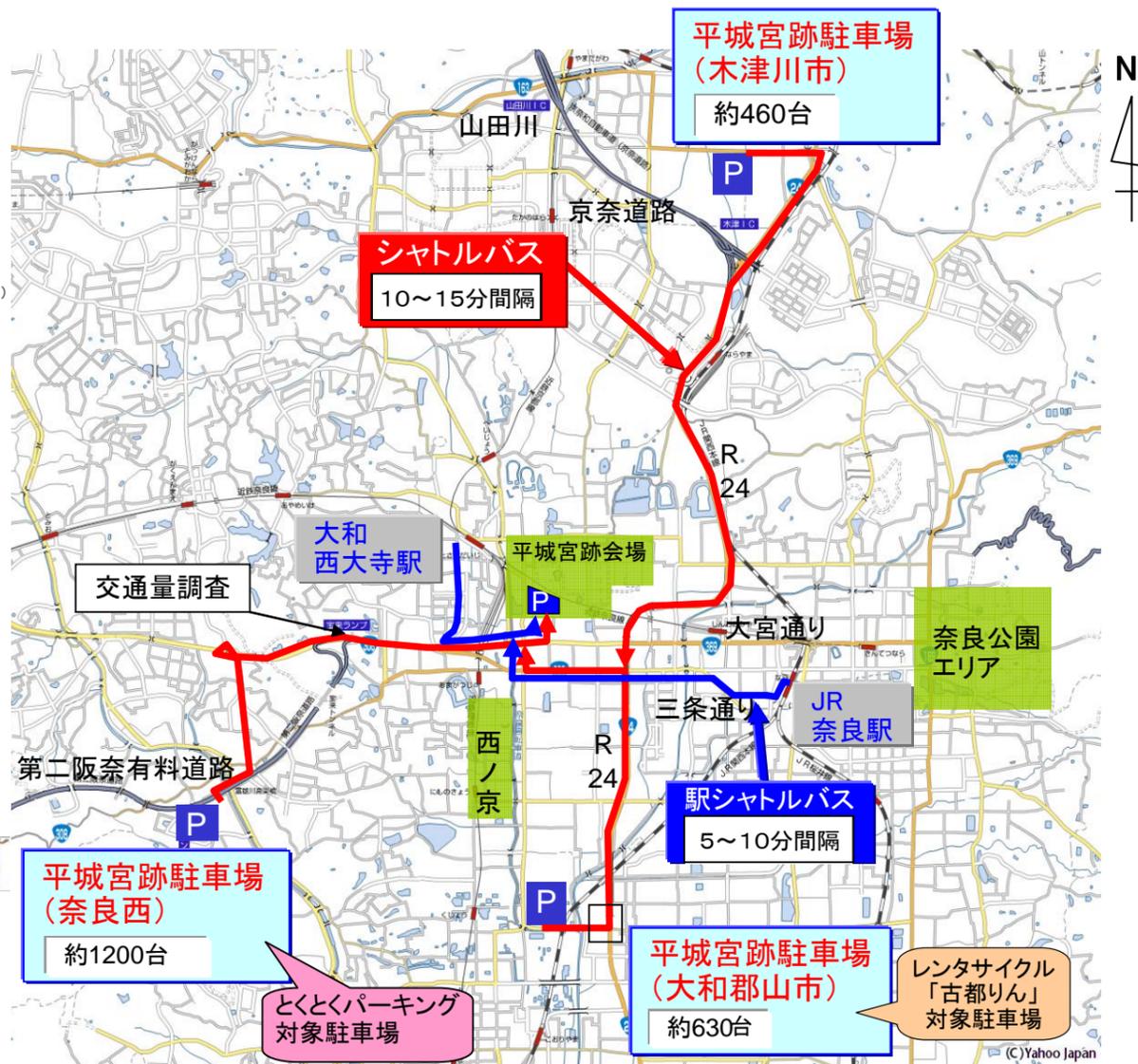


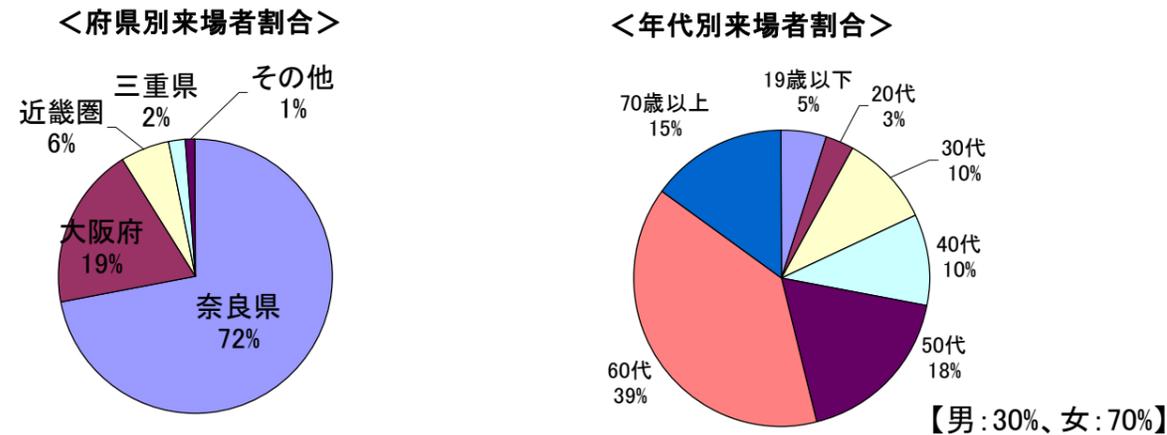
図2-3: 平城宮跡会場及び3郊外駐車場位置図

『全国都市緑化ならフェア※』のメイン会場（馬見丘陵公園）への交通状況等について

※ 緑化フェア期間：9月18日～11月14日

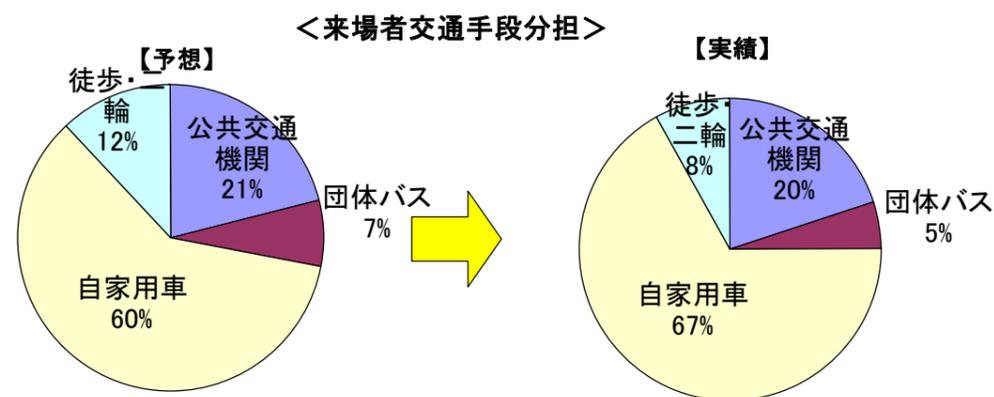
1. 来場者の動向

- 天候に左右されることが多かったが、全国広範囲から来場していただき、全来場者数は目標の40万人を超え、約43万人となった。その内訳は、奈良を除き大阪からの来場が最も多く全体の19%となった。
- 花のイベントであったことから、女性の層が大半を占め、特に50代以上の女性が全体の50%程度を占めた。

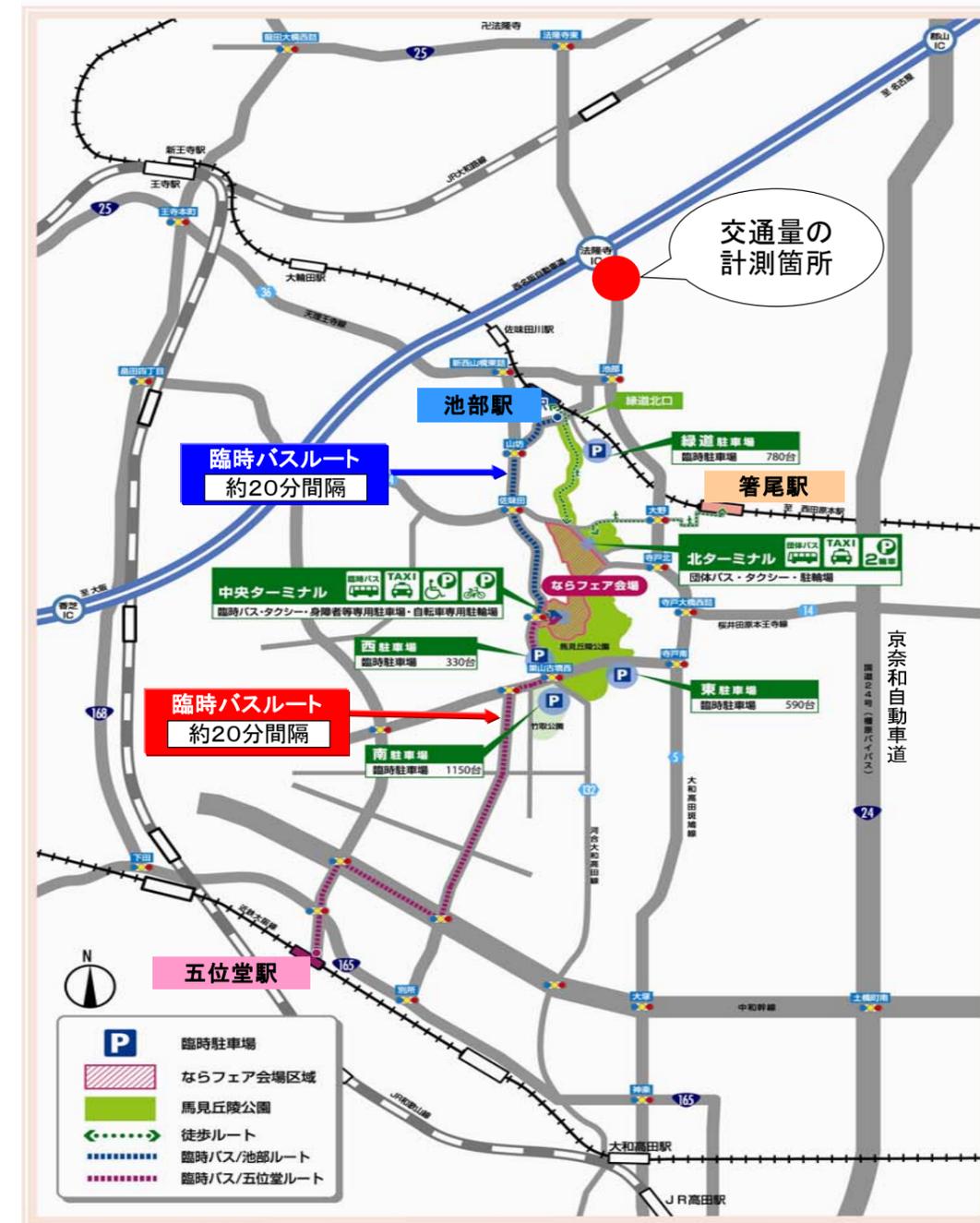
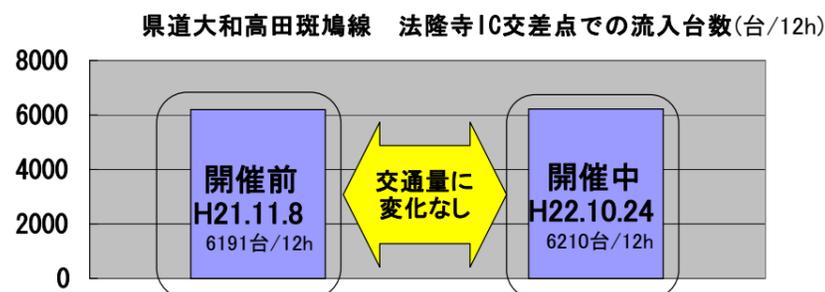


2. 来場者の交通手段分担及び周辺の交通状況

- 馬見丘陵公園の交通環境を懸念し、公共交通利用を優先する広報を実施。
- 来場者のアクセスは、**鉄道利用** → **団体バス利用** → **自家用車利用** の順に案内。
- 公共交通の利用が概ね想定通りであり、周辺での交通量にも大きな変化もなく、大きな渋滞も認められなかった。



<周辺での交通状況>



Ⓟ : 周辺駐車場(会場まで徒歩10~15分)

3. 来場者へのアクセスでの取り組み

- 日本道路交通情報センターの協力によるラジオでの公共交通の呼びかけ
1日平均 4回/日(8/28~9/17)、6回/日(9/18~11/14)
- ホームページによる案内
フェア期間中の平均アクセス 16,000回/日(トップページ)、6,300回/日(アクセスページ)

4. 今後の課題

- 今後とも、大阪など近傍府県から馬見丘陵公園へ公共交通機関により来訪しやすい案内・誘導環境を整えていく。

『奈良県みんなでつくる渋滞解消プラン』について

○ プランの目的

早期に事業効果が現れる「速効対策」「ソフト対策」（下記参照）を重視するとともに、渋滞対策について効果検証を実施し継続的な改善を図ることにより、早期の交通円滑化を図り、道路利用者へのより一層のサービス向上に努めるものです。

○ プランの特徴

- 1) 客観的なデータに基づき抽出した箇所公表とともに、県民や道路利用者へのアンケートによる計画の策定過程の「見える化」
- 2) 道路管理者と警察との連携による要因分析や対策の立案
- 3) コストや早期の事業効果発現の観点から現在の状況を少しでも改善する「速効対策」「ソフト対策」を優先して実施
- 4) 対策効果をフォローアップするPDCAの実施

○ 策定の経緯

- | | |
|----------|---|
| 平成20年12月 | 「奈良の今後5ヶ年（平成21年度～平成25年度）の道づくり重点戦略」策定 |
| 平成21年 9月 | 客観的データより、「渋滞が著しい箇所(原案)」計54箇所を選定 |
| 平成21年10月 | 道路利用者に「渋滞箇所に関するアンケート」を実施 |
| 平成22年 2月 | 道路利用者の意見を加味して3箇所を追加したうえで、「渋滞が著しい箇所」計57箇所を選定し、『奈良県みんなでつくる渋滞解消プラン』を策定 |

○ 対策の分類

1) 速効対策

用地買収を伴わない右折レーンの設置など、比較的短期間で効果の得られる対策

2) ソフト対策

パークアンドバスライドの実施や利用者への交通情報の提供により渋滞を緩和するなど、道路利用者の望ましい交通行動を促す施策

3) ハード対策

交差点改良やバイパス整備など、時間や費用はかかるものの渋滞緩和に大きな効果が得られる施策

4) 幹線道路ネットワークの効果を検証

幹線道路ネットワークの供用が間近な区間で、供用による効果を調査の上、対策を検討